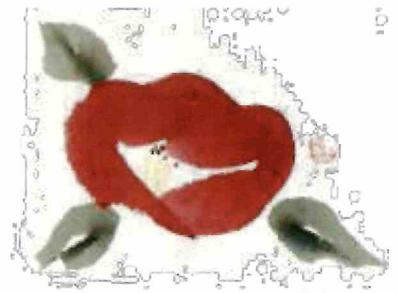


鎌倉 ハートナース



斎藤 紗綾

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第101号 令和3年12月発行（季刊）

発行／編集：鎌倉市市民活動センター <https://npo-kamakura.com/>

こんな市民活動しています！

～生活者目線で伝える地元情報～

リレートーク No.20



The Shonan Post

<http://www.shonanpost.com>

shonanpost.contact@gmail.com



リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

1980年代、日本から海外への渡航者は増える一方、海外からの訪日客は多くありませんでした。それでも1964年の東京オリンピック以来、日本在住の外国人は着実に増え続けました。将来のグローバル化社会を見据え、英語の必要性が問われ始めたものの、日本在住の外国人に向けた英語での情報は少なかったのです。そんな中1985年に、鎌倉に住む有志数人によって創刊されたのが「The Kamakura Post 鎌倉ポスト」です。鎌倉のイベント、文化、教育、生活情報等を掲載した月刊ミニコミ英字新聞は、15年間多くの読者に喜ばれました。2000年に湘南在住のボランティアが先輩たちの意志を引き継ぎ、活動地域を広げて新たに「The Shonan Post 湘南ポスト」と命名したのです。

それから約21年、鎌倉を中心に藤沢、茅ヶ崎、大船、逗子、葉山、横須賀まで裾野を広げ、紙面もB5サイズからA4サイズへ拡大、ロゴマークを一新し、掲載内容を見直しました。また年間テーマを設け、湘南と絡めた特集記事を組んでいます。2020年のテーマは東京オリンピックに因んで「湘南のアスリート」、2021年は翌年スタートの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に合わせて「鎌倉時代」です。

昨年から今年にかけては、コロナウィルス感染対策を取りつつ発行を続け、地元誌の取材に応じ、市主催の市民活動団体パネル展に出展するなど広報活動にも力を入れました。唯一残念だったのは、毎年恒例の「鎌倉国際交流フェスティバル」が2020年は中止になったことです。高德院というこの上ない場所での広報活動とバザーは、年に一度の常連客との再会、情報交換の場でもあるからです。今年復活できたのは嬉しい限りでした。

さて、このような活動を担っているのは日本、米国、カナダ、ルクセンブルク出身で、鎌倉、大船、藤沢、茅ヶ崎在住のボランティア11名です。創刊当時のメンバーから入会5、6年の新メンバーが月1回集まり、印刷と会議を行っています。会議は原則英語で、年齢や経験に関係なく活発な意見交換が行われます。時々話が脱線しますが、そこから思いもよらない斬新なアイデアが生まれることも。

急速にデジタル化、AI活用が進む時代、湘南ポストも2009年にウェブサイトを開設しました。しかし紙媒体の継続は重要だと信じています。紙面作りのプロセスを楽しみつつ、生活者の目線で地元の情報プラスアルファを皆さんと共有する。この姿勢を次世代の子供たちにも伝えたいと願っています。

(The Shonan Post 佐藤美奈子)



第23回かまくら 市民活動フェスティバル



◆「第23回フェスティバル」を終えて◆

11月13日、14日の両日、鎌倉市広町公園緑地で、第23回かまくら市民活動フェスティバルが行われた。コロナにも屈することなく、鎌倉の市民活動の祭典を絶やしたくない、そんな思いが23回の歴史の中で、初の屋外催行となった。両日とも好天に恵まれた。

家族づれを中心に述べ800名余の来場があり、自然の中で、心穏やかに過ごされる風景は、時間に追われる日常とは別の風景、別の時間のながれ。

鎌倉が誇る「子供たちの健やかな成長」「緑豊かな自然」「そして平和な時のながれ」を感じていただけたかと思います。一切の事故なく無事に終わることができ、ご来場いただいた皆様、関係各位に感謝するとともに安堵。また、来年も屋外かな？

皆さんの「自分のみらいを描こう！」、その未来に「自然」が加わったことでしょう。ありがとうございました。

(第23回 フェスティバル実行委員長 小島政行)

◆ 焼き芋 ◆

フェスティバルは森の中で開催となり、焚火もOK。火とくればやっぱ焼き芋でしょ、と言う安直な発想のもと、今年の賑わいの演出は焼き芋で決定。こもれ日のさす美しい森の中で、空前の「炭化器を利用した鎌倉野菜の焼き芋」大作戦が敢行されました。

成功のためにイモ好き農業好きの助っ人を招集。が、焦げたり、ムラができたり、熱いわ、中腰だわ、いぶされるわ、の悪戦苦闘の連続。それでも焼けたら即、売れて「おいしい！」の笑顔、笑顔。

ありがとうございました。息つく間もなかったけど、おかげさまで焼き芋40kg、完売です。

◆ 実行委員より ◆

今回はフェスティバルの実行委員として携わることができ、イベントの企画の大変さやイベント実施までの不安感がありましたが、とても楽しく活動することができました。

今度はまた別の機会でフェスティバルに関わることができればいいなと思います。

(学生団体 NEW COLUMBUS
メンバー 一同)



クジラのお腹に何がある？



焼き芋



竹の工作



美味しいコーヒー販売も

◆ ネイチャーツアー ◆

樹木医の田中浩さんと、鎌倉フラワー&ネイチャーガイドの村田江里子さんがガイドを務めるネイチャーツアーは、子どもから大人まで楽しめる自然探索ツアー。

耳を澄ませば、百舌鳥啼る(もずたける=もずが鳴く)、せせらぎの音、数珠玉、烏瓜、子どもの頃に見た景色そのまま。

人間が自然の中に入り保全活動をすることで、環境を整え生態系を維持していく。開発ではなく、共存。

ひとりで散策していても気がつかないような植物の解説は、ネイチャーツアーならではの醍醐味。湿地に生育するタコノアシという準絶滅危惧種の多年草に参加者も興味津々。

最後に、オオエノキの大木の前で、悠久の昔からある伝説をご披露頂く。広町の森に棲んでいた龍の話・・・愛をつらぬいて、この土地を守った龍神様の身体が、広町の山となり、今の私たちを見守って下さっている。

あたりは神秘的な空気に包まれ、初冬の光が森を照らしていた。

龍神の魂抱き山眠る 紗綾
(斎藤 紗綾)



◆ 第3回 SDGs フォトコンテスト ◆

環境、教育、健康、気候変動、ジェンダーなど17の目標を意識し、日々の暮らしの中でSDGsの実践をおこなうきっかけとなるような写真を募集しました。13日にフォトコンテスト優秀作品の表彰式が行われました。



SDGs フォトコンテスト入賞の皆様



ネイチャージョー



ワークショップ



パネル展示



紙芝居

新規登録団体のご紹介

(令和3年11月末日現在)

松坡文庫研究会

逗子開成・鎌倉女学院の設立者であり、漢詩人としても優れた田辺新之助（号は松坡）の旧蔵書である松坡文庫（鎌倉市中央図書館）について、加えて田辺新之助の^{ひととなり}為人や事蹟についても調査研究し、それらを公表する活動をしています。

鎌倉・自然に学ぶ会

地域の自然を「楽しい」「好き」「大切にしたい」という気持ちをはぐくみ、自然にお返ししながら生きる持続可能な地域社会づくりを目的に活動。散策ツアーや自然観察会、自然に関する普及啓発のパンフレットの制作なども行っています。

<https://smilyguide.wixsite.com/erikomurataofficial>

The 和み Space Connected

子どもや子育て世代、学生、シニア、地域の外国人がそれぞれで、または世代間でつながり参加できるイベントや居場所の提供をします。英語の対応もしています。

the-nagomi-space-connected.org

NPO 法人かまくら冒険遊び場やまもり

鎌倉の豊かな自然と地域性を生かした野外を中心とした遊び、地域との交流、多世代の居場所づくりに関する事業を展開し、子育てしやすく住みよい環境を目指し活動する団体です。鎌倉市冒険遊び場協働運営事業や、小学校の放課後事業のプログラム実施、地域交流事業としての里山であそびイベントの開催をおこなっています。

<https://yamamorikamakura.wixsite.com/yamamori>

鎌倉無有館

鎌倉市扇が谷の「無有館」建物周辺の環境を維持するために、道路清掃および森林の剪定作業を実施しています。今後は定期的なマルシェ（市）を開催したり、社会的意義のある団体（個人事業主、福祉事務所等）が制作している商品などをECサイトを立ち上げて全国の方に届けることで、共生への意識向上や地域の活性化に役立てたいと考えています。

<https://www.epbiz.co.jp>



★ センターより お知らせ ★

昨年より故障中の大船センターのエアコンですが、今冬も、世界的な半導体不足の影響により、修理が出来ておりません。ご不便をおかけ致しまして、大変申し訳ございません。ビル内の別会議室に振替させて頂きますので、ご利用下さい。

写真は、熊の手ではなく、凍えながら仕事をするスタッフの手袋です。



よいお年をお迎えください

鎌倉常盤山の会のご協力により、今年はセンターで門松を作成することになりました。お近くにお越しの際はセンターの入口をご覧ください。もし何もなければ残念な結果に終わったのだな、と。 🍡🍡🍡

編集後記：今号はNPOセンターの2大イベント「ファンド」と「フェスティバル」のレポートを中心にお届けしました。コロナ禍でも動き続けるアツイ潮流を感じていただけたでしょうか。地域の課題やまちづくりに取り組む人々がお互い手を取りあい、パートナーとして協力しあうことを願って名付けられた「パートナーズ」。200号を目指し、さあ一緒に、今こそ歩みを進めましょう！（02）

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
TEL : 0467-60-4555
FAX : 0467-61-3928
E-mail : npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX : 0467-42-0345
E-mail : npo2@abelia.ocn.ne.jp

令和3年12月10日現在

利用登録団体数：325 団体

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。